

2015年度 前期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	生物環境化学科						
科目名	環境材料化学						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	3年前期		
必修・選択の別	選択科目(バイオサイエンスコース)/選択科目(食品生物資源コース)/選択必修科目(エネルギー・環境コース)						
担当者	西田 哲明						
授業の到達目標(シラバスから)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 放射線や原子核の基礎と応用について解説できる。 2. メスバウアー効果の原理と応用について解説できる。 3. 環境問題の解決にメスバウアー分光法が有効であることを解説できる。 4. 廃棄物のリサイクル、新素材の開発とそれらの応用について解説できる。 						
日程と内容	<p>4/08 導入講義：授業の概要と進め方、成績評価について説明する。放射線について</p> <p>4/15 放射線の種類と性質</p> <p>4/22 自然放射線と放射線、原子核の有効利用</p> <p>4/25 放射線の単位</p> <p>5/13 メスバウアー効果とは</p> <p>5/20 異性体シフトと化学結合</p> <p>5/27 四極分裂の基礎</p> <p>6/02 化学結合、電気陰性度、電子構造とメスバウアーパラメータその1</p> <p>6/03 化学結合、電気陰性度、電子構造とメスバウアーパラメータその2 (中間試験含む)</p> <p>6/17 無機固体材料その1、非晶質固体の構造</p> <p>6/24 無機固体材料その2、分子磁性体の構造</p> <p>7/08 無機固体材料その2、錯体の構造</p> <p>7/15 メスバウアー分光法の環境化学への応用</p> <p>7/22 メスバウアー分光法と廃棄物のリサイクルその1</p> <p>7/23 メスバウアー分光法と廃棄物のリサイクルその2</p> <p>7/29 定期試験</p>						
成績評価基準	定期試験	70%	実技	0%			
	臨時試験	30%	部外評価	0%			
	報告書・レポート	0%	プレゼンテーション	0%			
	課題	0%					
	演習	0%	計	100%			
授業到達目標の達成度	<ol style="list-style-type: none"> 1. 放射線や原子核の基礎と応用について解説できるようになった。 2. メスバウアー効果の原理と応用について解説できるようになった。 3. 環境問題の解決にメスバウアー分光法が有効であることを解説できるようになった。 4. 廃棄物のリサイクル、新素材の開発とそれらの応用について解説できるようになった。 						
反省点	20名の授業で全員真剣に授業に取り組んでくれた。						
来年度の計画	定年退職の予定です。学生諸君の一層の奮起を期待します。						
授業評価アンケートに対するコメント	総合評価で9.3(19名回答)となり、そのうち13名(68%)が10点または9点を付けてくれた。8点以上の回答者は19名(100%)となり、個別の設問項目においても、多くの項目の評価は4.4~4.6(5段階評価)であった。						
履修登録者数	21名	定期試験受験者数	20名	合格者数	20名	合格率	100%